

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2018年7月5日(05.07.2018)



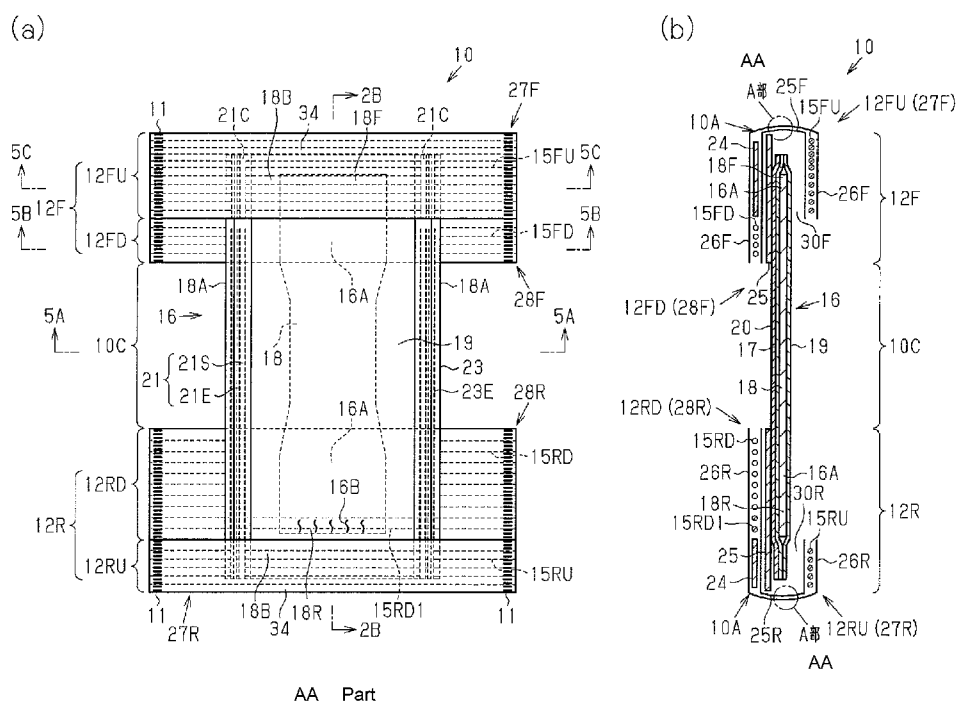
(10) 国際公開番号

WO 2018/123514 A1

- (51) 国際特許分類:
A61F 13/49 (2006.01) A61F 13/494 (2006.01) 〒1040061 東京都中央区銀座4丁目7番5号 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2017/044165 (72) 発明者: 黒原 健志 (KUROHARA, Takeshi);
〒1040061 東京都中央区銀座四丁目7番5号 王子マネジメントオフィス株式会社内 Tokyo (JP).
- (22) 国際出願日: 2017年12月8日(08.12.2017)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2016-255129 2016年12月28日(28.12.2016) JP
特願 2017-159704 2017年8月22日(22.08.2017) JP
- (71) 出願人: 王子ホールディングス株式会社 (OJI HOLDINGS CORPORATION) [JP/JP];
- (74) 代理人: 恩田 誠, 外 (ONDA, Makoto et al.);
〒5008731 岐阜県岐阜市大宮町二丁目12番地1 Gifu (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT,

(54) Title: ABSORBENT ARTICLE

(54) 発明の名称: 吸収性物品



(57) Abstract: An absorbent article that comprises: a first exterior part; a second exterior part; an absorbent main body; and leg gathers that are respectively provided on side edge parts of the absorbent main body that run in the front-rear direction. Each leg gather has: at least one elastic member that extends in the front-rear direction; a sheet that sandwiches the elastic member(s); a tip part that corresponds to a left-right-direction end part of the absorbent main body; and a base part that is close to a left-right-direction center axis of the absorbent main body. In first regions at which the leg gathers

HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, KE, KG, KH,
KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY,
MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ,
NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT,
QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL,
SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 一 国際調査報告 (条約第21条(3))

overlap upper regions, the leg gathers are adhered to the first exterior part and/or the second exterior part between the tip parts and the base parts. In second regions at which the leg gathers overlap lower regions, the leg gathers are not adhered to the first exterior part and/or the second exterior part between the tip parts and anywhere between the base parts and the elastic members that are closest to the base parts.

(57) 要約: 吸収性物品は、第1外装部および第2外装部と、吸収性本体と、吸収性本体の前後方向に沿う両側縁部にそれぞれ設けられるレグギャザーとを備える。各レグギャザーは、前後方向に延びる少なくとも1つの弾性部材と、弾性部材を挟み込むシートとを有するとともに、吸収性本体の左右方向における両側の各端部に相当する先端部と、吸収性本体の左右方向における中心線に近い根本部と、を有する。上部領域に重なるレグギャザーの第1領域では、レグギャザーの先端部から根本部までの間の部分が第1外装部および/または第2外装部に接着されている。下部領域に重なるレグギャザーの第2領域では、根本部に最も近い弾性部材と根本部との間の何れかの位置から、先端部までの間の部分が第1外装部および/または第2外装部に非接着である。

明 細 書

発明の名称： 吸収性物品

技術分野

[0001] 本発明は、レグギャザーを備えた吸収性物品に関する。

背景技術

[0002] 特許文献 1 に示すように、吸収性物品としての使い捨ておむつは、前身頃を構成する第 1 外装部と、後身頃を構成する第 2 外装部と、第 1 外装部に接合される前端部と第 2 外装部に接合される後端部とを含む吸収性本体と、を備えている。第 1 外装部と第 2 外装部とは、吸収性本体が 2 つに折曲され、第 1 および第 2 外装部の胴回り方向の両端部が互いに接合されることで、上端部に胴回り部を構成し、下端部に脚回り開口部を構成する。第 1 外装部および第 2 外装部には、胴回り部に胴回り方向に沿って糸ゴムなどの弾性部材が配置されている。また、吸収性本体は、前後方向に沿う両側縁部において、前後方向に延びる弾性部材をシートで挟み込んで構成されたレグギャザーを備えている。レグギャザーは、装着時において、脚回り開口部に位置する。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献 1：特開 2006-263306 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 吸収性本体の内面においてレグギャザーは、肌から離れて肌に密着しないと、脚回りに隙間を生じ、排泄物が脚回りから漏れる原因となる。

本発明の目的は、脚回りからの漏れを抑制することを可能とした吸収性物品を提供することである。

課題を解決するための手段

[0005] 上記課題を解決するための吸収性物品は、第 1 外装部および第 2 外装部と

、吸収性本体と、前記吸収性本体の前後方向に沿う両側縁部にそれぞれ設けられるレグギャザーとを備える。第1外装部および第2外装部の少なくとも一方が、前記吸収性物品の胴回り部を構成する上部領域と前記上部領域の下側に位置する下部領域とを備える。吸収性本体は、前記第1外装部および前記第2外装部と重なり接着される前後方向における端部領域と、前記第1外装部と前記第2外装部との間に位置する股下部とを有する。前記レグギャザーの前後方向における各端部は、前記上部領域に重なる第1領域と、前記下部領域に重なる第2領域とを含む。各レグギャザーは、前記前後方向に延びる少なくとも1つの弾性部材と、前記弾性部材を挟み込むシートとを有するとともに、前記吸収性本体の左右方向における両側の各端部に相当する先端部と、前記吸収性本体の左右方向における中心線に近い根本部と、を有する。前記第1領域では、前記レグギャザーの前記先端部から前記根本部までの間の部分が前記第1外装部および／または前記第2外装部に接着されており、前記第2領域では、前記根本部に最も近い弾性部材と前記根本部との間の何れかの位置から、前記先端部までの間の部分が前記第1外装部および／または前記第2外装部に非接着である。

図面の簡単な説明

[0006] [図1]本発明の吸収性物品を具体化した第1実施形態におけるパンツ型使い捨ておむつの斜視図。

[図2] (a) は、図1のパンツ型使い捨ておむつの展開状態を示す平面図、(b) は、(a)の2B-2B線に沿った断面図。

[図3] (a) は、図1のおむつの上部領域の接着領域を図2(a)に対応して示す平面図、(b) は、図1のおむつの下部領域の接着領域を図2(a)に対応して示す平面図。

[図4]図1のおむつが装着された状態の要部断面図。

[図5]図1のおむつの吸収性本体を幅方向に伸長した状態を示す図であり、(a) は、図2(a)の5A-5A線に沿った股下部の断面図、(b) は、図2(a)の5B-5B線に沿った下部領域の断面図、(c) は、図2(a)

の5 C－5 C線に沿った上部領域の断面図。

[図6]図1のおむつの着用時における吸収性本体の状態を示す図であり、(a)は、図2(a)の5 A－5 A線に沿った股下部の断面図、(b)は、図2(a)の5 B－5 B線に沿った下部領域の断面図、(c)は、図2(a)の5 C－5 C線に沿った上部領域の断面図。

発明を実施するための形態

[0007] 図1ないし図6を参照して本発明における吸収性物品を具体化した一実施形態におけるパンツ型使い捨ておむつについて説明する。

図1に示すように、パンツ型使い捨ておむつ10(以下、単に「おむつ10」という。)は、人体の腹部形状に追従する形状を有する前身頃10Fと、人体の背部形状に追従する形状を有する後身頃10Rと、前身頃10Fおよび後身頃10Rを繋ぐ股下部10Cとを備える。

[0008] 前身頃10Fにおいて股下部10Cと反対側の部分は、人体の胴回りの部分を取り囲む胴回り部10Wを構成し、上端に、胴回り開口部10Aを備えている。また、前身頃10Fにおける左右両端部、後身頃10Rにおける左右両端部、および、股下部10Cにおける左右両端部は、人体の太股部分を取り囲む形状を有した左右一対の脚回り開口部10Lを構成している。また、前身頃10Fと後身頃10Rの胴回り方向の左右両端部は、接合部11となっている。

[0009] 図2(a)は、パンツ型使い捨ておむつの展開状態を示す平面図、(b)は、(a)の2 B－2 B線に沿った断面図である。なお、図2(b)において、右側がおむつ装着者の肌側、すなわち装着者の肌に近い側となる。

[0010] 前身頃10Fにおける胴回り部10Wは、腹側の第1外装部としての腹側外装体12Fで構成され、後身頃10Rにおける胴回り部10Wは、背側の第2外装部としての背側外装体12Rで構成されている。

[0011] 腹側外装体12Fおよび背側外装体12Rは、胴回り方向を長手方向とした矩形形状を有している。外装体を構成するシートは、一例として、ポリエチレン、ポリプロピレン、ポリエステル、その他の熱可塑性樹脂を原料とし

た合成繊維からなる不織布であり、また、透液性シート、不透液性シートであってもよい。そして、腹側外装体 12F は、腹側外装体 12F を構成するシート間に腹側上部弾性部材 15FU および腹側下部弾性部材 15FD が挟まれて構成されている。背側外装体 12R もまた、背側外装体 12R を構成するシート間に背側上部弾性部材 15RU および背側下部弾性部材 15RD が挟まれて構成されている。これらの弾性部材 15FU, 15FD, 15RU, 15RD は、天然ゴム、合成ゴム、ウレタンなどから選ばれる 1 つ以上の材料により形成された弾性体であり、糸状または紐状に形成されている。弾性部材 15FU, 15FD, 15RU, 15RD は、複数本が互いに平行に、胴回り方向に沿って配置されている。

[0012] 腹側外装体 12F と背側外装体 12R とは、股下部 10C を構成する吸収性本体 16 で連結される。吸収性本体 16 は、前後方向を長手方向とした矩形形状を有している。図 2 (b) に示すように、吸収性本体 16 は、液不透過性を有したバックシート 17 と、吸収体 18 と、液透過性を有したトップシート 19 と、バックシート 17 に対して外側に重ねられるカバーシート 20 とを備えている。おむつ 10 において、トップシート 19 は、着用者の肌と接する内側に配置され、バックシート 17 は、吸収体 18 に対して外側に配置され、カバーシート 20 は、バックシート 17 を覆うように、最外に配置される。そして、吸収性本体 16 において、外側から、カバーシート 20、バックシート 17、吸収体 18、トップシート 19 の順に重なっている。

[0013] バックシート 17 を形成する材料は、例えば、液不透過性を有したポリエチレン樹脂製のフィルムである。バックシート 17 は、通気性を確保するため、微細孔が多数形成されている。トップシート 19 およびカバーシート 20 を形成する材料は、例えば、織布、不織布、多孔性フィルムなどから選ばれる 1 以上の材料である。また、トップシート 19 は、例えば、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロンのような熱可塑性樹脂の繊維であって親水化処理が施された繊維から構成される液透過性を有した不織布などが用いられる。カバーシート 20 は、最外のシートであり、使用者に触

れるシートであるため、手触り感を向上させる不織布などで構成されている。

[0014] 吸収体 18 は、前身頃 10F、股下部 10C、および、後身頃 10R に跨るように細長い帯形状を有している。吸収体 18 は、吸収性材料の成形体と、成形体を包むコアラップとで構成されている。吸収体 18 を形成する吸収性材料の成形体は、例えば、フラッフパルプ、高吸収性ポリマー、親水性シートなどの吸収性材料を成形したものである。また、コアラップは、ティッシュや不織布などで構成されている。そして、吸収体 18 は、バックシート 17 とトップシート 19 との間に配置され接合される。吸収体 18 は、腹側外装体 12F と背側外装体 12R との間に延在され、腹側端部 18F と背側端部 18R とを備えている。なお、吸収体 18 において、コアラップは省略されていてもよい。

[0015] バックシート 17、トップシート 19、および、カバーシート 20 は、吸収体 18 に対して一回り大きな矩形形状を有したシートであり、吸収体 18 が配置される中央領域と、吸収体 18 が配置されていない周辺領域（周辺部）とを含む。吸収性本体 16 における前後方向に延びる両側縁部は、吸収体 18 が存在しない（配置されていない）シート側縁部 18A である。シート側縁部 18A は、一例として、バックシート 17、トップシート 19、および、カバーシート 20 が重なって構成されている。また、シート側縁部 18A は、一例として、カバーシート 20 の前後方向に延びる両側縁部を内側に折り返して構成されている。また、吸収性本体 16 の前後方向における外装体 12F、12R と重なる領域の内面と外面は、外装体を構成するシートが接着される端部領域 16A となる。端部領域 16A は、吸収性本体 16 の前後方向の両端部であって、吸収体 18 の腹側端部 18F および背側端部 18R と、これら端部 18F、18R の周辺部 18B と、シート側縁部 18A とを含む領域である。

[0016] 腹側外装体 12F は、腹側上部領域 12FU と腹側下部領域 12FD とを備えている。背側外装体 12R も、背側上部領域 12RU と背側下部領域 1

2 R Dとを備えている。

図2（b）に示すように、腹側上部領域1 2 F Uおよび背側上部領域1 2 R Uでは、腹側上部弾性部材1 5 F Uおよび背側上部弾性部材1 5 R Uが吸収性本体1 6に対して内側、すなわちトップシート1 9側に配置されており、胴回り開口部1 0 Aや胴回り部1 0 Wの一部を構成している。腹側下部領域1 2 F Dおよび背側下部領域1 2 R Dでは、腹側下部弾性部材1 5 F Dおよび背側下部弾性部材1 5 R Dが吸収性本体1 6に対して外側、すなわちバックシート1 7やカバーシート2 0側に配置されており、胴回り部1 0 Wの一部を構成している。

[0017] 腹側上部領域1 2 F Uには、複数本の腹側上部弾性部材1 5 F Uが胴回り方向を長手方向としたシート間（腹側外部シート部2 6 Fと腹側内部シート部2 5 Fの間）において、胴回り方向における左右両端部に亘って伸長された状態で配置されている。背側上部領域1 2 R Uには、複数本の背側上部弾性部材1 5 R Uが胴回り方向を長手方向としたシート間（背側外部シート部2 6 Rと背側内部シート部2 5 Rとの間）において、胴回り方向における左右両端部に亘って伸長された状態で配置されている。

[0018] また、腹側下部領域1 2 F Dには、複数本の腹側下部弾性部材1 5 F Dが胴回り方向を長手方向としたシート間（腹側外部シート部2 6 Fと腹側内部シート部2 5 Fの間）において、胴回り方向における左右両端部に亘って配置されている。背側下部領域1 2 R Dには、複数本の背側下部弾性部材1 5 R Dが胴回り方向を長手方向としたシート間（背側外部シート部2 6 Rと背側内部シート部2 5 Rとの間）において、胴回り方向における左右両端部に亘って配置されている。これら弾性部材1 5 F U, 1 5 F D, 1 5 R U, 1 5 R Dは、胴回り部1 0 Wにおいて、ウェストギャザーやタミーギャザーを構成し、腹漏れや背漏れの発生を抑制する。

[0019] 図2（b）に示すように、腹側下部領域1 2 F Dおよび背側下部領域1 2 R Dは、吸収性本体1 6における端部領域1 6 Aのカバーシート2 0に直接接着されている。図2（a）に示すように、腹側下部弾性部材1 5 F Dは、

端部領域 1 6 A 上において、伸長していない状態、例えば切断された状態で配置されている。また、大半の背側下部弾性部材 1 5 R D は、端部領域 1 6 A 上において、伸長していない状態、例えば切断された状態で配置されている。これにより、吸収性本体 1 6 は、腹側下部弾性部材 1 5 F D および背側下部弾性部材 1 5 R D の収縮に合わせて吸収性本体 1 6 が収縮し、吸収性本体 1 6 にひだが形成されることを抑制することができる。そして、吸収性本体 1 6 と肌との間に隙間が生じることを抑制でき、腹漏れや背漏れを抑制することができる。

[0020] 複数本の背側下部弾性部材 1 5 R D のうちで背側上部領域 1 2 R U の近くにおいて背側上部領域 1 2 R U の下端部に沿って位置する複数本の背側下部弾性部材 1 5 R D 1 は、吸収体 1 8 の背側端部 1 8 R 上において、伸長した状態、すなわち切断されていない状態で配置されている。したがって、背側下部弾性部材 1 5 R D 1 が配置された領域では、背側端部 1 8 R にひだ 1 6 B を形成することができる。ひだ 1 6 B が形成された背側端部 1 8 R では、ひだ 1 6 B が形成されていない領域よりも吸収体 1 8 の厚さが厚くなり、後述の背側ポケット 3 0 R の開口端が臀部に押されて塞がりにくくなる。ひだ 1 6 B を、背側ポケット 3 0 R に導くガイドとして機能させることができる。

[0021] 図 2 (b) に示すように、腹側上部領域 1 2 F U は、腹側上部弾性部材 1 5 F U をシート（腹側外部シート部 2 6 F と腹側内部シート部 2 5 F）で挟み込んで腹側内部弾性部 2 7 F を構成している。また、腹側下部領域 1 2 F D も、腹側下部弾性部材 1 5 F D をシート（腹側外部シート部 2 6 F と腹側内部シート部 2 5 F）で挟み込んで腹側外部弾性部 2 8 F を構成している。腹側上部領域 1 2 F U および腹側下部領域 1 2 F D は、腹側外部シート部 2 6 F と腹側内部シート部 2 5 F とによって、一連に繋がっている。

[0022] 背側上部領域 1 2 R U は、背側上部弾性部材 1 5 R U をシート（背側外部シート部 2 6 R と背側内部シート部 2 5 R）で挟み込んで背側内部弾性部 2 7 R を構成している。また、背側下部領域 1 2 R D も、背側下部弾性部材 1

５ＲＤをシート（背側外部シート部２６Ｒと背側内部シート部２５Ｒ）で挟み込んで背側外部弾性部２８Ｒを構成している。背側上部領域１２ＲＵおよび背側下部領域１２ＲＤは、背側外部シート部２６Ｒと背側内部シート部２５Ｒとによって、一連に繋がっている。

[0023] 腹側外部シート部２６Ｆおよび背側外部シート部２６Ｒは、肌とは反対側の最も外側に位置するとともに、胴回り開口部１０Ａの部分で内側に折り曲げられて最も肌側に位置するシートである。腹側内部シート部２５Ｆおよび背側内部シート部２５Ｒは、腹側外部シート部２６Ｆおよび背側外部シート部２６Ｒに対向するシートである。

[0024] 腹側内部弾性部２７Ｆを構成している腹側外部シート部２６Ｆおよび腹側内部シート部２５Ｆは、腹側上部弾性部材１５ＦＵおよび腹側下部弾性部材１５ＦＤを挟み込み、第１接着剤２４で接着されている。腹側外部シート部２６Ｆおよび腹側内部シート部２５Ｆの折り返し部分は、胴回り開口部１０Ａを構成し、胴回り開口部１０Ａをシートの２枚重ねで構成することによって、強度を高めている。

[0025] 背側内部弾性部２７Ｒを構成している背側外部シート部２６Ｒおよび背側内部シート部２５Ｒは、背側上部弾性部材１５ＲＵおよび背側下部弾性部材１５ＲＤを挟み込み、第１接着剤２４で接着されている。背側外部シート部２６Ｒおよび背側内部シート部２５Ｒの折り返し部分は、胴回り開口部１０Ａを構成し、胴回り開口部１０Ａをシート２枚重ねで構成することによって、強度を高めている。

[0026] 腹側内部弾性部２７Ｆおよび背側内部弾性部２７Ｒにおいて、腹側上部弾性部材１５ＦＵおよび背側上部弾性部材１５ＲＵと隣接する腹側内部シート部２５Ｆおよび背側内部シート部２５Ｒは、端部領域１６Ａのトップシート１９に対して接着されない非接着とされる。また、腹側内部弾性部２７Ｆおよび背側内部弾性部２７Ｒにおいて、端部領域１６Ａの周囲の領域では、胴回り開口部１０Ａで折り返された腹側内部シート部２５Ｆ同士が第２接着剤２５によって接着される。また、端部領域１６Ａのカバーシート２０も腹側

内部シート部 25 F に対して第 2 接着剤 25 によって接着される。

[0027] ここで、図 3 (a) は、上部領域の接着領域を図 2 (a) に対応して示す平面図、図 3 (b) は、下部領域の接着領域を図 2 (a) に対応して示す平面図である。

図 2 (b) および図 3 (a) に示すように、腹側上部領域 12 F U において、端部領域 16 A のカバーシート 20 が腹側内部シート部 25 F に対して第 2 接着剤 25 によって接着される領域が、第 1 接着領域 22 A となる。また、背側上部領域 12 R U において、端部領域 16 A のカバーシート 20 が背側内部シート部 25 R に対して第 2 接着剤 25 によって接着される領域が、第 1 接着領域 22 A となる。

[0028] また、腹側上部領域 12 F U における腹側内部弾性部 27 F において、第 1 接着領域 22 A の周囲であって、胴回り開口部 10 A で折り返された腹側内部シート部 25 F 同士が第 2 接着剤 25 によって接着される領域が、第 2 接着領域 22 B となる。また、背側上部領域 12 R U における背側内部弾性部 27 R において、胴回り開口部 10 A で折り返された背側内部シート部 25 R 同士が第 2 接着剤 25 によって接着される領域が、第 2 接着領域 22 B となる。腹側内部弾性部 27 F および背側内部弾性部 27 R における第 2 接着領域 22 B は、端部領域 16 A の周囲に位置することで、股下部 10 C を向いた凹部形状を有する。この凹部形状の内側部分において、腹側内部弾性部 27 F および背側内部弾性部 27 R は、端部領域 16 A のトップシート 19 に対して接着されない非接着部となる。これにより、腹側内部弾性部 27 F の腹側内部シート部 25 F と端部領域 16 A のトップシート 19 との間には、腹側ポケット 30 F が構成される。また、背側内部弾性部 27 R の背側内部シート部 25 R と端部領域 16 A のトップシート 19 との間には、背側ポケット 30 R が構成される。

[0029] これらポケット 30 F, 30 R は、股下部 10 C 側に開口端を有し、腹や背の方向に移動する尿や便などの排泄物を収容できるように構成されている。また、第 2 接着領域 22 B は、胴回り開口部 10 A と端部領域 16 A の前

後方向の先端部との間に所定の幅を有する余白部 34 を備え、ポケット 30 F, 30 R に收容された排泄物が胴回り開口部 10 A の方へ漏れることを抑制している。

[0030] また、図 3 (b) に示すように、腹側下部領域 12 F D および背側下部領域 12 R D において、腹側外部弾性部 28 F および背側外部弾性部 28 R の腹側内部シート部 25 F および背側内部シート部 25 R が端部領域 16 A のバックシート 17 に対して接着される領域が、第 3 接着領域 22 C となる。

[0031] ここで、腹側ポケット 30 F および背側ポケット 30 R の大きさについて説明する。図 4 に示すように、例えば乳幼児の体型は、腹部 36 側は股間部分において窪み部 37 を有しており、背部 38 側は、臀部 39 が出っ張っている。したがって、腹側ポケット 30 F の開口端は、股間部分が窪んでいることで開いた状態になりやすく、排泄物も腹側ポケット 30 F 内に浸入しやすくなる。また、腹側ポケット 30 F は、尿などの液体が多く流入する傾向があり、小さ過ぎると腹漏れの原因となる。そこで、腹側ポケット 30 F は、背側ポケット 30 R に対して大きく深いものとし、尿などの排泄物を收容するための容積を十分確保し、腹漏れの発生を抑えるようにしている。そして、腹側ポケット 30 F には、おむつ 10 を廃棄する際に、腹側ポケット 30 F 以外の部分が丸められた状態で收容される。

[0032] なお、背側ポケット 30 R は、腹側ポケット 30 F に対して小さく浅いものとなっているので、臀部 39 によって、背側ポケット 30 R の開口端が塞がれにくくなっている。

図 2 (a) に示すように、吸収性本体 16 の内面、すなわちトップシート 19 上には、前後方向に沿う両端部に立体ギャザー 21 が配置されている。各立体ギャザー 21 は、吸収性本体 16 の前後方向に延在する第 1 弾性部材 21 E と、第 1 弾性部材 21 E を挟み込むサイドシート 21 S とを備えている。第 1 弾性部材 21 E は、複数本が互いに平行な状態で、かつ、ホットメルト接着剤が塗布され伸長された状態でサイドシート 21 S に対して配置され、サイドシート 21 S が二つ折りされることで、サイドシート 21 S によ

って挟み込まれる。第1弾性部材21Eは、弾性部材15FU, 15FD, 15RU, 15RDと同様な材料で構成されている。サイドシート21Sも、トップシート19やカバーシート20と同様なシートで構成され、例えば、液不透過性を有した不織布などを含んだ前後方向に延びる長尺のシート体で構成されている。

[0033] サイドシート21Sは、前後方向において、腹側上部領域12FU、股下部10C、および、背側上部領域12RUに跨る長さを有している。第1弾性部材21Eは、サイドシート21Sの前後方向における長さよりも短く、腹側下部領域12FD、股下部10C、および、背側下部領域12RDに跨る長さを有している。具体的には、第1弾性部材21Eの前端部は、腹側下部領域12FDの下端部と腹側上部領域12FUの上端部との間であって、かつ、腹側上部領域12FUの下端部と腹側下部領域12FDの股下部10C側の端部（腹側下部領域12FDの下端部）との間に位置している。すなわち、第1弾性部材21Eの前端部は、腹側下部領域12FDに位置している。より具体的には、この例において、第1弾性部材21Eの前端部は、腹側下部領域12FDの腹側上部領域12FU側の端部（腹側下部領域12FDの上端部）に位置している。また、第1弾性部材21Eの後端部は、背側下部領域12RDの下端部と背側上部領域12RUの上端部との間であって、かつ、背側上部領域12RUの下端部と背側下部領域12RDの股下部10C側の端部（背側下部領域12RDの下端部）との間に位置している。すなわち、第1弾性部材21Eの後端部は、背側下部領域12RDに位置している。より具体的には、この例において、第1弾性部材21Eの後端部は、背側下部領域12RDの背側上部領域12RU側の端部（背側下部領域12RDの上端部）に位置している。

[0034] 図5(a)に示すように、股下部10Cにおいて、サイドシート21Sは、二つ折りされた状態で第1弾性部材21Eを挟み込んでいる。折り返されて重なり合ったサイドシート21Sの各端部、すなわち立体ギャザー21の基端部21Bは、吸収性本体16のシート側縁部18Aにホットメルト接着

剤などの接着剤 2 1 A によって固定される。第 1 弾性部材 2 1 E を挟み込んだサイドシート 2 1 S は、上記基端部 2 1 B と、吸収性本体 1 6 の左右方向両端部（基端部 2 1 B）から左右方向の中心線方向に向かって延びる形状を有する先端部 2 1 P とを含む。上述したように基端部 2 1 B は、接着剤 2 1 A によって吸収性本体 1 6 のシート側縁部 1 8 A に接着されている。さらに、サイドシート 2 1 S は、基端部 2 1 B における左右方向の中心線側の縁部を折返部 2 1 T として、折返部 2 1 T から先端部 2 1 P までが吸収性本体 1 6 の左右方向両端部を向くように折り返されている。

[0035] 図 5（b）に示すように、腹側下部領域 1 2 F D および背側下部領域 1 2 R D においても、立体ギャザー 2 1 の基端部 2 1 B が吸収性本体 1 6 のシート側縁部 1 8 A に接着剤 2 1 A によって固定される。股下部 1 0 C、ならびに、腹側下部領域 1 2 F D および背側下部領域 1 2 R D において、第 1 弾性部材 2 1 E を挟み込んだサイドシート 2 1 S は、肌当接方向に対して立体ギャザー 2 1 として立ち上がることができればよい。第 1 弾性部材 2 1 E を挟み込んだサイドシート 2 1 S は、先端部 2 1 P から折返部 2 1 T までが非接着とされ、立体ギャザー 2 1 を立ち上がり可能としている。第 1 弾性部材 2 1 E を挟み込んだサイドシート 2 1 S は、少なくとも、先端部 2 1 P から折返部 2 1 T に最も近い第 1 弾性部材 2 1 E 1 までが非接着であれば非接着の部分を持ち上げることもできる。そして、先端部 2 1 P までの非接着の部分が長いほど、立体ギャザー 2 1 の立ち上がりの高さは高くなり、先端部 2 1 P をしっかりと肌に当接させることができる。

[0036] 図 5（c）に示すように、腹側上部領域 1 2 F U および背側上部領域 1 2 R U では、第 1 弾性部材 2 1 E が存在せず、サイドシート 2 1 S の先端部 2 1 P から折返部 2 1 T までの全領域が基端部 2 1 B やシート側縁部 1 8 A に対して接着剤 2 1 A によって固定され、シール部 2 1 C となっている。なお、サイドシート 2 1 S の先端部 2 1 P から折返部 2 1 T までの全領域が第 2 接着剤 2 5 と一連の接着剤で接着されていてもよい。また、基端部 2 1 B のシート側縁部 1 8 A に対する接着やシール部 2 1 C は熱溶着であってもよい。

。

[0037] また、吸収性本体 16 のシート側縁部 18A は、カバーシート 20 の前後方向に沿う両側縁部を、中央側に折り返して構成されている。図 2 (a) に示すように、折り返されたシート側縁部 18A は、レグギャザー 23 を備えている。レグギャザー 23 は、シート側縁部 18A で吸収性本体 16 の前後方向に延在する第 2 弾性部材 23E を挟み込んで構成されている。そして、折り返されて中央側に位置するカバーシート 20 の各縁部は、接着剤 23C によって接着されている (図 5 (a) ~ (c) 参照)。接着剤 23C は、腹側下部領域 12FD および背側下部領域 12RD ならびに腹側上部領域 12FU および背側上部領域 12RU において、第 2 接着剤 25 と一体的となる。

[0038] 第 2 弾性部材 23E も、複数本が互いに平行な状態で、かつ、ホットメルト接着剤が塗布され伸長された状態で、腹側下部領域 12FD から股下部 10C を介して背側下部領域 12RD に亘って延在される。具体的には、第 2 弾性部材 23E の前端部は、腹側下部領域 12FD の股下部 10C 側の端部 (腹側下部領域 12FD の下端部) と腹側上部領域 12FU の上端部との間であって、かつ、腹側上部領域 12FU の下端部と腹側下部領域 12FD の股下部 10C 側の端部 (腹側下部領域 12FD の下端部) との間に位置している。すなわち、第 2 弾性部材 23E の前端部は、腹側下部領域 12FD に位置している。より具体的には、この例において、第 2 弾性部材 23E の前端部は、腹側下部領域 12FD の腹側上部領域 12FU 側の端部 (腹側下部領域 12FD の上端部) に位置している。また、第 2 弾性部材 23E の後端部は、背側下部領域 12RD の股下部 10C 側の端部 (背側下部領域 12RD の下端部) と背側上部領域 12RU の上端部との間であって、かつ、背側上部領域 12RU の下端部と背側下部領域 12RD の股下部 10C 側の端部 (背側下部領域 12RD の下端部) との間に位置している。すなわち、第 2 弾性部材 23E の後端部は、背側下部領域 12RD に位置している。より具体的には、この例において、第 2 弾性部材 23E の後端部は、背側下部領域

1 2 R Dの背側上部領域1 2 R U側の端部（背側下部領域1 2 R Dの上端部）に位置している。なお、第2弾性部材2 3 Eの前端部および後端部は、上部領域1 2 F U、1 2 R Uまたは下部領域1 2 F D、1 2 R Dに位置していればよい。換言すると、第2弾性部材2 3 Eの前端部および後端部は、上部領域1 2 F U、1 2 R Uの上端部と、下部領域1 2 F D、1 2 R Dの股下部1 0 C側の端部（下部領域1 2 F D、1 2 R Dの下端部）との間に位置していればよい。例えば、第2弾性部材2 3 Eの前端部および後端部が上部領域1 2 F U、1 2 R Uに位置するときには、レグギャザー2 3の範囲をより広くすることができる。

[0039] レグギャザー2 3の前後方向における各端部は、腹側上部領域1 2 F Uおよび腹側下部領域1 2 F D、並びに背側上部領域1 2 R Uおよび背側下部領域1 2 R Dと重なっている。腹側上部領域1 2 F Uおよび背側上部領域1 2 R Uと重なるレグギャザー2 3の領域（第1領域）は、第2弾性部材2 3 Eが配置されていないシート側縁部1 8 Aに対応している。そして、腹側上部領域1 2 F Uおよび背側上部領域1 2 R Uと重なる第1領域では、先端部2 3 P（吸収性本体1 6の左右両側の各端部）から根本部2 3 Q（左右方向における中心線に近い端部）までの間の全領域が、外装体を構成するシート（腹側内部シート部2 5 Fおよび背側内部シート部2 5 R）に第2接着剤2 5によって接着されている（図5（c）参照）。

[0040] また、レグギャザー2 3の前後方向における各端部は、腹側下部領域1 2 F Dおよび背側下部領域1 2 R Dと重なる領域（第2領域）を含む。レグギャザー2 3の第2領域は、先端部2 3 P（吸収性本体1 6の左右両側の各端部）から根本部2 3 Q（左右方向における中心線に近い端部）までの間に、外装体を構成するシートに非接着とされている部分を含む。換言すると、レグギャザー2 3の第2領域では、根本部2 3 Qに最も近い第2弾性部材2 3 E 1と根本部2 3 Qとの間の何れかの位置から、先端部2 3 Pまでの間の部分が、外装体を構成するシート（腹側内部シート部2 5 Fおよび背側内部シート部2 5 R）に対して非接着である。そして、折り返されて中央側に位置

する部分の先端部分（折り返されて中央側に位置するカバーシート 20 の縁部を含む部分）のみがシート（腹側内部シート部 25 F および背側内部シート部 25 R）に第 2 接着剤 25（接着剤 23 C）によって接着されている（図 5（b）参照）。このように、レグギャザー 23 の先端部 23 P から根本部 23 Q に最も近い第 2 弾性部材 23 E 1 までの間が少なくとも、外装体を構成するシート（腹側内部シート部 25 F および背側内部シート部 25 R）に対して非接着とされている。これにより、レグギャザー 23 は、腹側下部領域 12 F D および背側下部領域 12 R D に重なる第 2 領域において先端部 23 P から根本部 23 Q までの全領域が外装体を構成するシート（腹側内部シート部 25 F および背側内部シート部 25 R）に対して接着されている場合に比べて、しっかりと立ち上がることができる。

[0041] 以上のようなおむつ 10 では、腹側外部シート部 26 F および腹側内部シート部 25 F が腹側上部領域 12 F U および腹側下部領域 12 F D に跨って設けられている。背側外部シート部 26 R および背側内部シート部 25 R も背側上部領域 12 R U および背側下部領域 12 R D に跨って設けられている。そして、腹側外部シート部 26 F および腹側内部シート部 25 F と背側外部シート部 26 R および背側内部シート部 25 R とは、接合部 11 で接合されている。これにより、おむつ 10 を履く際にも、脚が上部領域と下部領域との間の隙間に進入してしまい、おむつ 10 が履きにくくなることを防ぐことができる。

[0042] ここで、以上のようにおむつ 10 が着用された状態の立体ギャザー 21 とレグギャザー 23 の状態について説明する。図 6（a）に示すように、股下部 10 C において、レグギャザー 23 が第 2 弾性部材 23 E の収縮により肌当接方向に例えばほぼ鉛直な状態に立ち上がり、シート側縁部 18 A の先端部が股下に当接する。これに伴い、立体ギャザー 21 も、第 1 弾性部材 21 E の収縮によりシート側縁部 18 A に対して肌当接方向（高さ方向）に例えば鋭角（V 字形状）に立ち上がる。そして、立体ギャザー 21 とレグギャザー 23 との間には、溝 23 A が構成される。

[0043] 図6(b)に示すように、腹側下部領域12FDおよび背側下部領域12RDでは、股下部10Cほどではないものの、レグギャザー23が腹側内部シート部25Fおよび背側内部シート部25Rに対して肌当接方向に立ち上がり、シート側縁部18Aの先端部が脚部の付け根部に当接する。これに伴い、立体ギャザー21もシート側縁部18Aに対して肌当接方向（高さ方向）に例えば鋭角（V字形状）に立ち上がる。立体ギャザー21とレグギャザー23との間の溝23Aは、股下部10Cから連続して、腹側下部領域12FDおよび背側下部領域12RDにおいても構成される。

[0044] 図6(c)に示すように、腹側上部領域12FUおよび背側上部領域12RUでは、レグギャザー23の第2弾性部材23Eは配置されておらず、シート側縁部18Aは、着用者のウエストの内部弾性部27F、27Rが収縮することによって、腹部や腰部の形状に倣うように撓んで立ち上がる。また、立体ギャザー21の第1弾性部材21Eも配置されていない。第1弾性部材21Eを備えていない立体ギャザー21のサイドシート21Sは、腹側上部領域12FUおよび背側上部領域12RUと重なる全領域が吸収性本体16の内面に接着されている。したがって、立体ギャザー21は、シート側縁部18Aと一体的に撓んで立ち上がる。そして、腹側上部領域12FUおよび背側上部領域12RUにおける立体ギャザー21の立ち上がりに追従して腹側下部領域12FDおよび背側下部領域12RDならびに股下部10Cのレグギャザー23や立体ギャザー21もしっかりと立ち上がる。また、溝23Aは、立体ギャザー21のサイドシート21Sの全領域が吸収性本体16の内面に接着されることで、腹側上部領域12FUおよび背側上部領域12RUでは無くなることになる。すなわち、溝23Aは、上部領域12FU、12RUと下部領域12FD、12RDとの境界部分が終点となる。

[0045] 図6(a)に示すように、股下部10Cでは、立体ギャザー21が内側に位置しレグギャザー23が外側に位置する。排泄物である尿などの液体23Bは、股下部10Cにおいて、立体ギャザー21を乗り越えて、立体ギャザー21とレグギャザー23との間に浸入してしまうこともある。立体ギャザー

ー２１とレグギャザー２３との間の液体２３Ｂは、着用者の姿勢が変わることを契機として、立体ギャザー２１とレグギャザー２３との間の溝２３Ａを伝って腹側上部領域１２ＦＵおよび背側上部領域１２ＲＵの方向へ流れる。すると、腹側上部領域１２ＦＵおよび背側上部領域１２ＲＵでは、立体ギャザー２１がシート側縁部１８Ａに接着されていることから、溝２３Ａがなくなり、液体２３Ｂがポケット３０Ｆ、３０Ｒ内において、吸収領域の方向（Ｄ１方向）に流れることになる。

[0046] 以上、上記実施形態によれば以下に列挙する効果を得ることができる。

（１）おむつ１０の前身頃１０Ｆおよび後身頃１０Ｒは、上部領域１２ＦＵ、１２ＲＵおよび下部領域１２ＦＤ、１２ＲＤにそれぞれ分かれているとともに、内部弾性部２７Ｆ、２７Ｒが吸収性本体１６の内側に配置される一方、外部弾性部２８Ｆ、２８Ｒが吸収性本体１６の外側に配置されている。本実施形態のおむつ１０は、立体ギャザー２１とレグギャザー２３とを備えているので、これにより、脚回りからの漏れを抑制することができる。

[0047] （２）立体ギャザー２１の第１弾性部材２１Ｅは、腹側下部領域１２ＦＤの腹側上部領域１２ＦＵ側の端部に位置する前端部と、背側下部領域１２ＲＤの背側上部領域１２ＲＵ側の端部に位置する後端部とを有する。また、レグギャザー２３の第２弾性部材２３Ｅも、腹側下部領域１２ＦＤの腹側上部領域１２ＦＵ側の端部に位置する前端部と、背側下部領域１２ＲＤの背側上部領域１２ＲＵ側の端部に位置する後端部とを有する。すなわち、前後方向における第１弾性部材２１Ｅおよび第２弾性部材２３Ｅの配置される範囲はほぼ同じ範囲である。これにより、股下部１０Ｃからポケット３０Ｆ、３０Ｒの開口端までの範囲で立体ギャザー２１およびレグギャザー２３を機能させることができ、排泄物を確実にポケット３０Ｆ、３０Ｒの方向に案内することができる。

[0048] （３）立体ギャザー２１は、腹側上部領域１２ＦＵおよび背側上部領域１２ＲＵでは、サイドシート２１Ｓの先端部２１Ｐから折返部２１Ｔまで全領域が接着剤によって固定され、シール部２１Ｃとなっている。したがって、

当該上部領域において、着用時、立体ギャザー 21 は、レグギャザー 23 が構成されたシート側縁部 18A の立ち上がりとともに立ち上がり、さらに、この立ち上がりに追従させて、腹側下部領域 12FD および背側下部領域 12RD ならびに股下部 10C の立体ギャザー 21 もしっかりと立ち上がらせることができる。これにより、脚回りからの漏れを抑制することができる。

[0049] (4) 腹側下部領域 12FD および背側下部領域 12RD と重なるレグギャザー 23 の領域 (第 2 領域) では、根本部 23Q に最も近い第 2 弾性部材 23E1 と根本部 23Q との間の何れかの位置から、先端部 23P までの間の部分が、外装体を構成する腹側内部シート部 25F および背側内部シート部 25R に対して非接着である。よって、上部領域 12FU, 12RU における吸収性本体 16 の前後方向に延びる両側縁部 (シート側縁部 18A) の立ち上がりに追従させて、下部領域 12FD, 12RD および股下部 10C のレグギャザー 23 を立ち上がらせることができる。これにより、脚回りからの漏れを抑制することができる。

[0050] より詳しくは、シート側縁部 18A は、腹側上部領域 12FU および背側上部領域 12RU において、着用者のウェストの内部弾性部 27F, 27R が収縮することによって、腹部や腰部の形状に倣うように撓んで立ち上がる。腹側上部領域 12FU および背側上部領域 12RU の立ち上がりに追従して、腹側下部領域 12FD および背側下部領域 12RD におけるレグギャザー 23 (第 2 領域) は、先端部 23P (吸収性本体 16 の左右両端部) から根本部 23Q (左右方向における中心線に近い端部) までの間に外装体を構成する腹側内部シート部 25F および背側内部シート部 25R に対する非接着部分を含むため、腹側内部シート部 25F および背側内部シート部 25R に対して立ち上がることができる。これにより、脚回りからの漏れを抑制することができる。

[0051] (5) 立体ギャザー 21 とレグギャザー 23 との間の溝 23A に浸入した液体 23B は、着用者の姿勢が変わることを契機として、溝 23A を伝って、腹側上部領域 12FU および背側上部領域 12RU の方向へ流れる。この

ような液体 23B は、上部領域 12FU、12RU と下部領域 12FD、12RD との境界部分の終点に至ると、溝 23A が無くなることで、ポケット 30F、30R 内において、吸収領域の方向（D1 方向）に流れ、吸収体 18 に吸収される。したがって、溝 23A に浸入した液体 23B がレグギャザー 23 から外に漏れることを防ぐことができる。

[0052] （６）腹側上部領域 12FU および背側上部領域 12RU では、ポケット 30F、30R の部分において、吸収性本体 16 の端部領域 16A に対して、内部弾性部 27F、27R が非接着なので、腹側上部弾性部材 15FU および背側上部弾性部材 15RU が自由に伸縮することができる。したがって、腹側上部領域 12FU と背側上部領域 12RU と肌との密着性が良くなり、また、着用者の動きに対する追従性を良くすることができる。この結果、腹漏れや背漏れの発生を抑制することができる。また、腹側上部弾性部材 15FU および背側上部弾性部材 15RU の伸縮が制限されないことで、腹側上部領域 12FU および背側上部領域 12RU における肌触りを良くすることができる。

[0053] （７）腹側内部弾性部 27F および背側内部弾性部 27R の下側にさらに、腹側外部弾性部 28F および背側外部弾性部 28R を配しているので、ウェストギャザーやタミーギャザーを大きくし、腹漏れや背漏れの発生を抑制することができる。

[0054] （８）吸収性本体 16 は、最外のシートとしてカバーシート 20 を備えているので、股下部 10C の外側の面における手触りを良くすることができる。

（９）腹側ポケット 30F は、背側ポケット 30R に対して大きく深いものとし、尿などの排泄物を収容するための容積を十分確保している。よって、腹側に流れた排泄物を確実に収容することができ、腹漏れの発生を抑えることができる。また、大きい方のポケットである腹側ポケット 30F には、おむつ 10 を廃棄する際に、腹側ポケット 30F 以外の部分を丸められた状態で（団塊部）収容することができる。

[0055] (10) 腹側外部シート部26Fおよび腹側内部シート部25Fが腹側上部領域12FUおよび腹側下部領域12FDに跨って設けられている。背側外部シート部26Rおよび背側内部シート部25Rも背側上部領域12RUおよび背側下部領域12RDに跨って設けられている。そして、腹側外部シート部26Fおよび腹側内部シート部25Fと背側外部シート部26Rおよび背側内部シート部25Rとは、接合部11で接合されている。これにより、おむつ10を履く際にも、脚が上部領域と下部領域との間の隙間に進入してしまい、おむつ10が履きにくくなることを防ぐことができる。また、おむつ10を廃棄する場合、接合部11を破り、腹側外装体12Fと背側外装体12Rとを胴回り方向の両端部を切り離す1回の破る作業で着用者から脱がすことができる。

[0056] なお、上記実施形態は以下のように適宜変更して実施することもできる。

- ・吸収性本体16は、バックシート17とカバーシート20の何れかを省略する構成としてもよい。

[0057] ・背側ポケット30Rの大きさは、腹側ポケット30Fの大きさと同じであってもよいし、背側ポケット30Rの方が腹側ポケット30Fよりも大きくてもよい。

- ・ポケット30F, 30Rの何れか又は両方を省略する構成としてもよい。

[0058] ・ポケット30F, 30Rの形状は、排泄物の浸入を妨げ収容できれば特に限定されるものではない。例えば、ポケット30F, 30Rは、例えばポケット30F, 30Rの開口端の幅が狭まった全体がΩ形状を有していてもよい。これにより、ポケット30F, 30Rに入った排泄物が逆戻りすることを抑制することができる。また、ポケット30F, 30Rの開口端の幅が胴回り開口部10A側の辺よりも広くてもよい。

[0059] ・おむつ10において、上部領域12FU, 12RUだけを弾性部材を胴回り方向に配した弾性部としてもよいし、下部領域12FD, 12RDだけを弾性部材を胴回り方向に配した弾性部としてもよい。また、上述の実施形

態とは逆の構成で、下部領域 1 2 F D, 1 2 R D に内部弾性部を構成し、上部領域 1 2 F U, 1 2 R U に外部弾性部を構成するようにしてもよい。

[0060] ・腹側外装体 1 2 F および背側外装体 1 2 R を構成するシートは、液不透過性であってもよいし、液透過性であってもよい。

・おむつ 1 0 において、胴回り開口部 1 0 A の部分が例えば 1 枚のシートで破れるおそれがない程度に強度を出すことができる場合、腹側内部シート部 2 5 F および背側内部シート部 2 5 R は、端部領域 1 6 A 対して内側の位置と外側の位置で一連に繋がっていてもよい。すなわち、胴回り開口部 1 0 A の部分は、腹側外部シート部 2 6 F および背側外部シート部 2 6 R だけで構成してもよい。

[0061] ・レグギャザー 2 3 は、カバーシート 2 0 の側縁部を折り返して間に第 2 弾性部材 2 3 E を挟んで構成するのではなく、例えば、カバーシート 2 0 の前後方向に沿った両側縁部とバックシート 1 7 やトップシート 1 9 の長手方向に沿った両側縁部とを重ね合わせて、間に第 2 弾性部材 2 3 E を挟んで構成してもよい。

[0062] ・おむつ 1 0 において、立体ギャザー 2 1 が省略された構成であってもよい。

・上記実施形態では、第 2 弾性部材 2 3 E の各端部は、下部領域 1 2 F D, 1 2 R D の上端部（すなわち、上部領域 1 2 F U, R U の下端部付近）に位置している。しかしながら、第 2 弾性部材 2 3 E の前端部および後端部は、レグギャザー 2 3 が立ち上がるのであれば、上部領域 1 2 F U, R U または下部領域 1 2 F D, 1 2 R D に位置していればよく、例えば、上部領域 1 2 F U, R U の股下部 1 0 C 側の端部（下端部）より上側、すなわち上部領域 1 2 F U, R U に位置していてもよい。

[0063] ・また、第 2 弾性部材 2 3 E の各端部は、下部領域 1 2 F D, 1 2 R D の股下部 1 0 C 側の端部よりも股下部 1 0 C に若干入った部分に位置していてもよい。すなわち、第 2 弾性部材 2 3 E の各端部は、下部領域 1 2 F D, 1 2 R D の股下部 1 0 C 側の端部の近くに位置していれば、下部領域 1 2 F D

， 1 2 R D と重なっていなくてもよい。

[0064] ・腹側外装体 1 2 F および背側外装体 1 2 R のうちの少なくとも一方が上部領域と下部領域とを備える構成であればよく、腹側外装体 1 2 F 及び背側外装体 1 2 R のうちの一方のみが上部領域と下部領域とを備える構成としてもよい。この場合には、レグギャザー 2 3 の前後方向における端部は、上部領域と重なる領域において、先端部から根本部までの間が上部領域および下部領域を備えた腹側外装体 1 2 F または背側外装体 1 2 R に接着され、下部領域と重なる領域において、先端部から最も根本部に近い弾性部材ないし根本部までの何れかの位置までの間が上部領域および下部領域を備えた腹側外装体 1 2 F または背側外装体 1 2 R に非接着とされる。

[0065] ・レグギャザー 2 3 の前後方向における端部は、上部領域と重なる領域において、先端部から根本部までの間が腹側外装体 1 2 F および／または背側外装体 1 2 R に実質的に接着される構成であればよく、先端と根本との間の中間部や先端を部分的に腹側外装体 1 2 F および／または背側外装体 1 2 R に非接着とする構成であってもよい。

[0066] ・吸収性物品としては、腹側外装体 1 2 F と背側外装体 1 2 R とが分離したパンツ型のおむつに限らず、腹側外装体と背側外装体とが一体化したパンツ型のおむつであってもよく、またパンツ型のおむつに限らず、テープ型のおむつであってもよい。また、乳幼児用又は介護を必要とする高齢者や障害者等の成人用の使い捨ておむつであってもよい。

請求の範囲

[請求項1]

吸収性物品であって、

第1外装部および第2外装部であって、これら外装部の少なくとも一方が、前記吸収性物品の胴回り部を構成する上部領域と前記上部領域の下側に位置する下部領域とを備える、第1外装部および第2外装部と、

前記第1外装部および前記第2外装部と重なり接着される前後方向における端部領域と、前記第1外装部と前記第2外装部との間に位置する股下部とを有する吸収性本体と、

前記吸収性本体の前後方向に沿う両側縁部にそれぞれ設けられるレグギャザーであって、各レグギャザーが、前記前後方向に延びる少なくとも1つの弾性部材と、前記弾性部材を挟み込むシートとを有する、レグギャザーと、を備え、

前記レグギャザーの前後方向における各端部は、前記上部領域に重なる第1領域と、前記下部領域に重なる第2領域とを含み、

各レグギャザーは、前記吸収性本体の左右方向における両側の各端部に相当する先端部と、前記吸収性本体の左右方向における中心線に近い根本部と、を有し、

前記第1領域では、前記レグギャザーの前記先端部から前記根本部までの間の部分が前記第1外装部および／または前記第2外装部に接着されており、

前記第2領域では、前記根本部に最も近い弾性部材と前記根本部との間の何れかの位置から、前記先端部までの間の部分が、前記第1外装部および／または前記第2外装部に非接着である、

吸収性物品。

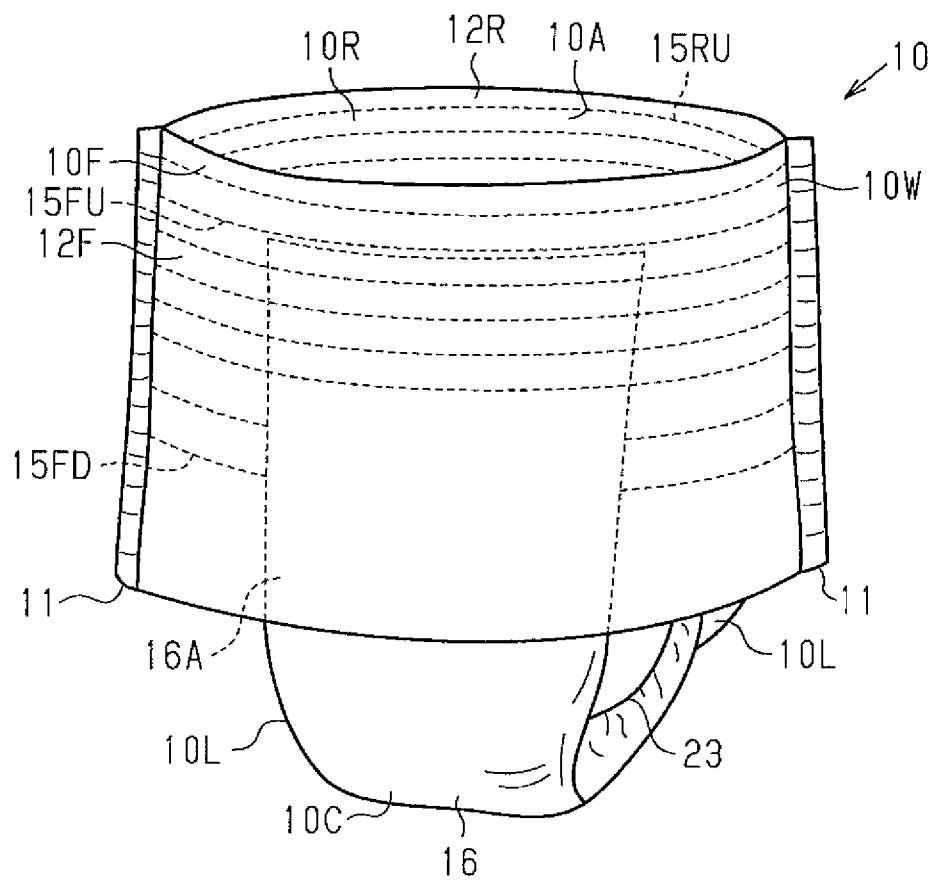
[請求項2]

前記弾性部材の各端部は、前記上部領域または前記下部領域に位置している

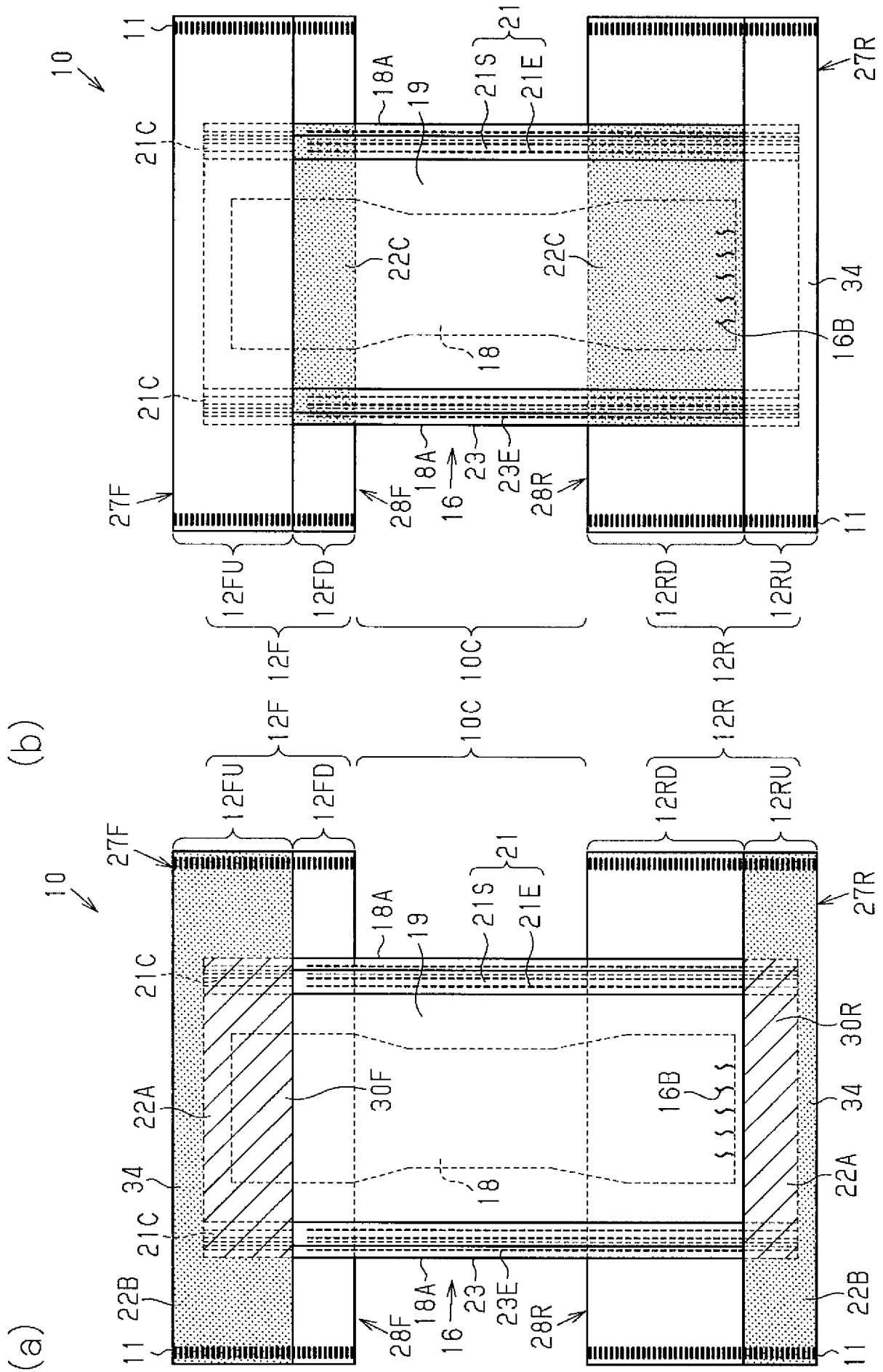
請求項1に記載の吸収性物品。

- [請求項3] 前記弾性部材は、前記第1外装部の前記下部領域、前記股下部、および前記第2外装部の前記下部領域に亘って延びている、
請求項2に記載の吸収性物品。
- [請求項4] 前記上部領域は、前記端部領域に対して内側に位置する内部弾性部を備え、
前記下部領域は、前記端部領域に対して外側に位置し、前記端部領域の外側の面に接着される外部弾性部を備え、
前記内部弾性部は、前記端部領域と重なる領域において非接着であり、前記端部領域の周囲において、前記端部領域に対して外側に位置しているシート部に対して接着されており、
前記内部弾性部と前記端部領域の間には、開口端を股下部側としたポケットが構成されている
請求項1ないし3のうち何れか1項に記載の吸収性物品。
- [請求項5] 前記第1外装部のポケットの方が前記第2外装部のポケットより大きい
請求項4に記載の吸収性物品。
- [請求項6] 前記上部領域と前記下部領域とは、前記上部領域と前記下部領域とに跨るシート部によって一連に構成されている
請求項1ないし5のうち何れか1項に記載の吸収性物品。

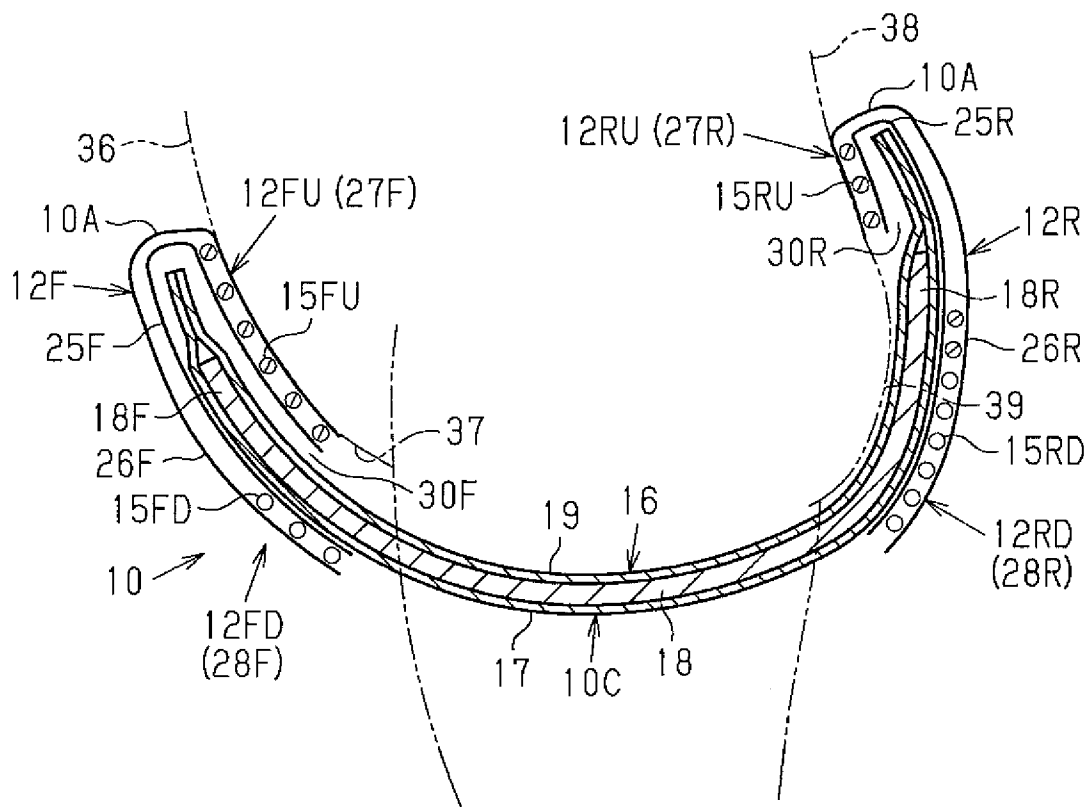
[図1]



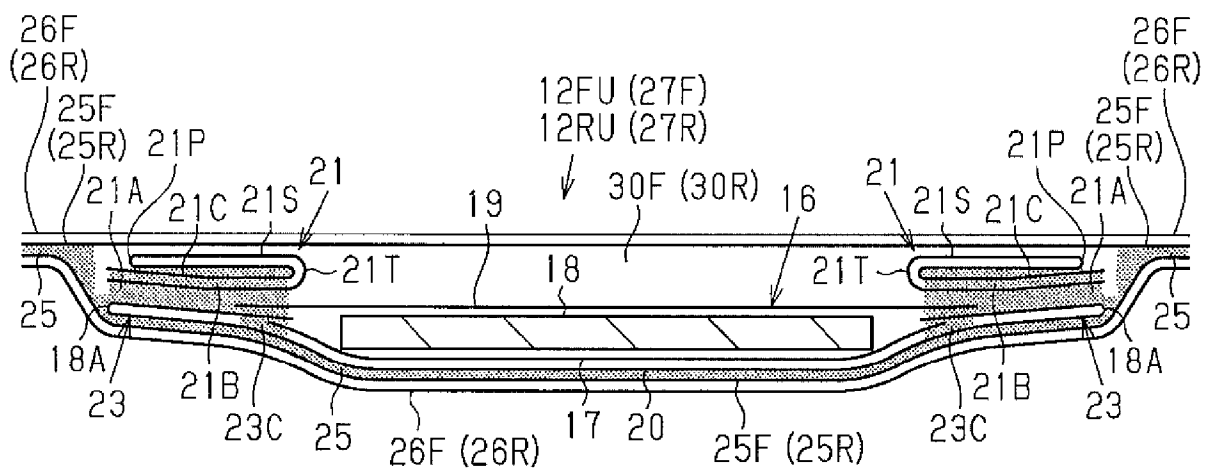
[図3]



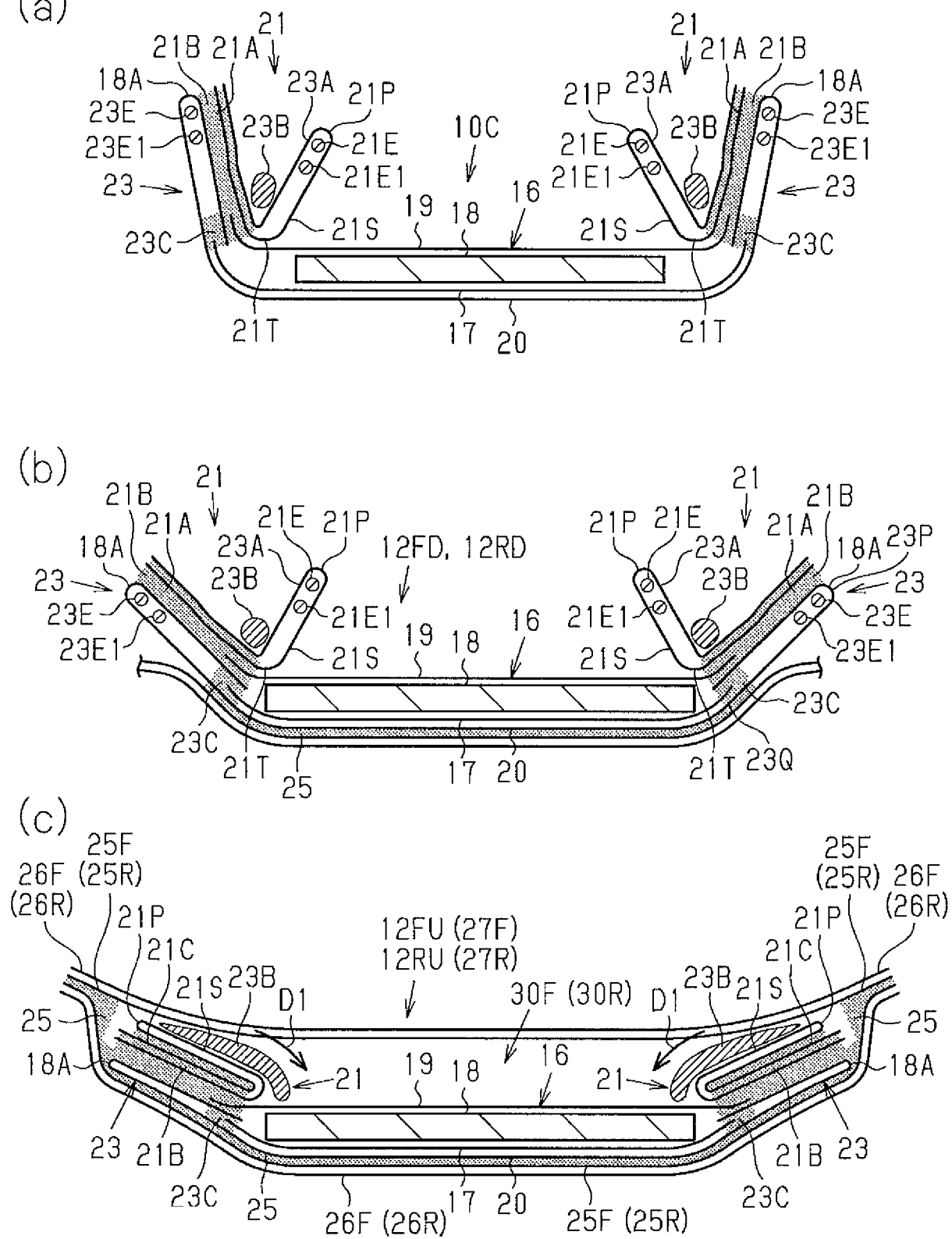
[図4]



(a)



(a)



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2017/044165

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl. A61F13/49 (2006.01) i, A61F13/494 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl. A61F13/15-13/84, A61L15/16-15/64

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2017
Registered utility model specifications of Japan	1996-2017
Published registered utility model applications of Japan	1994-2017

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2012-75801 A (KAO CORP.) 19 April 2012, paragraphs	1-3, 6
Y	[0012]-[0013], [0015]-[0016], [0019], [0031], [0036],	4
A	[0052]-[0053], fig. 2, 4-5, 8-9 (Family: none)	5
Y	JP 2016-112341 A (KAO CORP.) 23 June 2016, paragraphs	4
	[0025], [0036], fig. 5 (Family: none)	

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
27 December 2017 (27.12.2017)

Date of mailing of the international search report
16 January 2018 (16.01.2018)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/49(2006.01)i, A61F13/494(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/15-13/84, A61L15/16-15/64

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2017年
日本国実用新案登録公報	1996-2017年
日本国登録実用新案公報	1994-2017年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y A	JP 2012-75801 A（花王株式会社）2012.04.19, 段落[0012]-[0013], 段落[0015]-[0016], 段落[0019], 段落[0031], 段落[0036], 段落[0052]-[0053], 図2, 図4-5, 図8-9（ファミリーなし）	1-3, 6 4 5
Y	JP 2016-112341 A（花王株式会社）2016.06.23, 段落[0025], 段落[0036], 図5（ファミリーなし）	4

C欄の続きにも文献が列挙されている。

パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

27.12.2017

国際調査報告の発送日

16.01.2018

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

北村 龍平

3B

1183

電話番号 03-3581-1101 内線 3320